

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	岩手医科大学大学院歯学研究科
教育プログラム・コース名	岩手医科大学 特色ある医療支援歯学教育プログラム 入院時・災害時のベッドサイドにおける食支援と口腔ケアに関する教育の高度化プログラム
対象者	博士課程大学院生
修業年限（期間）	2年
養成すべき人材像	非常時（入院時・災害時）において、多職種連携の上で専門的な口腔のリハビリテーション、ケア、管理を行い、ベッドサイドにおける食べる機能の支援と感染防御を実践できる、研究能力を持った指導的な口腔機能の専門家を養成する。
修了要件・履修方法	修了要件： 本プログラムの3単位を履修し、所定の試験に合格すること。【岩手医科大学大学院歯学研究科必修】 履修方法： <u>次項の履修科目の内容からなる実習プログラム（3単位）を新規に開講する。</u> 各実習の最終回に内容に即したレポート形式による課題試験を行う。不合格者については試験結果をフィードバックするとともに、類似の課題を与えレポート形式の回答を求める。課題レポート提出を反復させる。
履修科目等	<岩手医科大学大学院歯学研究科必修科目> 入院時・災害時のベッドサイドにおける食支援と口腔ケアに関する教育の高度化プログラム（3単位、計90時間）  ・プログラム内容および目的 超高齢社会のチーム医療における歯科医師の役割と責任を理解させるために、入院時・災害時のベッドサイドにおける歯科医療について教授する。また、栄養サポート・緩和ケア・リハビリテーションと歯科の関わり、被災地における地域連携医療について教授する。 ・履修科目 1. NST・緩和ケア実習（栄養サポートチームおよび緩和ケアチームへの参加）1単位（1時間×30回で計30時間） 2. 摂食嚥下リハビリテーション・口腔ケア実習（口腔リハビリ外来・口腔ケア外来の診療等の参加）1単位（1時間×30回で計30時間） 3. 被災地口腔ケア・食支援研修（被災地における研修）1単位（7.5時間×4回で計30時間）
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<u>様々な局面における多職種連携医療チームに参画し、食支援や口腔ケアを通じて、超高齢社会の口腔機能管理に必要な知識と技術を習得できる点で新規性がある。</u> また、 <u>終末期医療、大規模災害の被災地における地域連携医療についても学べる点で独創性</u> がある。

指導体制	<p>教育プログラム統括： 岩手医科大学・石崎明教授（岩手医科大学生化学講座細胞情報科学分野）</p> <p>NST・緩和ケア実習担当： 岩手医科大学・遠藤龍人准教授（医学部内科学講座消化器内科・肝臓分野） 岩手医科大学・木村祐輔教授（医学部緩和医療学科） 岩手医科大学・佐藤友秀助教（歯学部補綴・インプラント学講座） 岩手医科大学・阿部晶子講師（口腔医学講座予防歯科学分野）</p> <p>摂食嚥下リハビリテーション・口腔ケア実習担当： 岩手医科大学・古屋純一准教授（歯学部補綴・インプラント学講座） 岩手医科大学・玉田泰嗣助教（歯学部補綴・インプラント学講座） 岩手医科大学・原淳助教（歯学部補綴・インプラント学講座） 岩手医科大学・安藝紗織助教（歯学部補綴・インプラント学講座） 岩手医科大学・阿部晶子講師（歯学部口腔医学講座予防歯科学分野） 岩手医科大学・野田守教授（歯学部歯科保存学講座う蝕治療学分野） 岩手医科大学・赤松順子衛生士長（岩手医科大学歯科衛生部）</p> <p>被災地口腔ケア・食支援研修： 岩手医科大学・城茂治教授（歯学部口腔顎顔面再建学講座歯科麻酔学分野） 岩手医科大学・岸光男准教授（歯学部口腔医学講座予防歯科学分野） 岩手医科大学・古屋純一准教授（歯学部補綴・インプラント学講座） 岩手医科大学・佐藤和郎准教授（歯学部口腔保健育成学講座歯科矯正学分野） 岩手県歯科医師会 岩手県保健所</p>						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	2年間の研修後、希望する者には岩手医科大学口腔リハビリ外来等での研修を1年行い、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士取得に必要な3年間の研修を修了させる。						
受入開始時期	平成27年4月						
受入目標人数	対象者	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	計
	岩手医科大学 大学院生	0	10	10	10	10	40
							0
							0
	計	0	10	10	10	10	40